

令和5年秋の叙勲・褒章、第41回危険業務従事者叙勲は、11月3日付けで発令されました。市内では次の皆さんが受章されました。

調停委員

川村 昇平 さん (69歳・大通り)

平成10年に調停委員の任命を受け、不動産業の経営やNPO活動を行いながら25年間、家事調停を中心に職務を果たしてきました。当事者同士が妥協点を見出せるよう、双方の思いを聞くことに専念。就任する際に「人生修養の場」との言葉をかけられ、引き受けた以上は使命と捉えて解決の手助けに努めました。妻には頭が上がりたくないと言い、受章は「恐縮の極みだ」と謙遜していました。



藍綬褒章
【調停委員功績】

民生・児童委員

佐藤 彥子 さん (79歳・常盤台)

平成7年から民生・児童委員を務め、28年に北上市民生委員児童委員協議会長に就任。地域住民が自立して暮らせるよう住民の声に耳を傾け、28年間、子どもからお年寄りまで見守ってきました。信念は「みんなが幸せに」。受章について「関係者や住民の皆さんからのお祝いの声のご褒美。大変なこともあったが、やってきて良かったと心から思う」とほほ笑みました。



藍綬褒章
【社会福祉功績】

危険業務従事者叙勲

元岩手県警部補

紺野 功 さん (73歳・飯豊)

昭和43年に岩手県警入りし、主に地域や交通部門を担当。20代半ばに病を患うも、42年間職務を全うしました。昭和59年の「宵の怪盗」と言われた広域窃盗事件(指定3号事件)では、職務質問で犯人を割り出し検挙に結び付けました。駐在所の勤務は18年。地域の人たちから「紺ちゃん」と呼ばれ、「みんなが協力してくれた。家族も文句を言わず支えてくれた」と感謝していました。



瑞宝単光章
【警察功労】

元岩手県警部補

渡辺 純孝 さん (74歳・立花)

瑞宝単光章【警察功労】

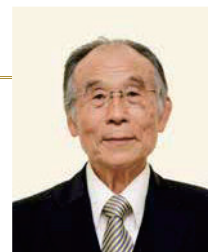
※本人の希望により氏名・住所・年齢のみ掲載しています。

秋の叙勲・褒章

福島大学名誉教授

佐々木 武人 さん (80歳・相去町)

昭和48年に福島大学教育学部講師として赴任し、平成元年に教授に就任。柔道の安全指導に関する研究成果を国内外で発表して高く評価されました。また、附属養護学校長時には柔道指導を試み、障がい者スポーツの発展にも貢献。平成23年から北上市スポーツ推進審議会委員も務めています。「研究・指導を通じ、優秀な体育教員を育成できた。支えてくれた妻にも感謝している」と受章を喜びました。



瑞宝中綬章
【教育研究功労】

元北上市消防団団長

菅 孝志 さん (76歳・更木)

昭和50年に北上市消防団に入団し、約39年間任務にあたりました。平成23年の東日本大震災発生時は民生委員も務め、副団長と民生委員の両方の立場で奔走。直後の4月に団長に就任し「受けた以上はやるしかない」と、先輩からの教えを引き継ぎ26年まで務めました。「災害の規模によらず、関わってきたものは印象に残っているが、災害がないことが一番だ」と語りました。



瑞宝単光章
【消防功労】

元北上市消防団副団長

齊藤 律雄 さん (77歳・和賀町横川目)

昭和43年に和賀町消防団に入団し、約37年間務めました。平成12年に後藤野工業団地で見つかった不発弾の処理作業時には、警戒態勢を敷き市民の安全確保に尽力。14年から3年間、副団長を担いました。退団後、08有志と後方支援「北上市消防団さくら会」を発足。24年から2期8年は市議会議員を務めました。「家族に迷惑をかけたが当たり前の活動としてやってきた」と振り返りました。



瑞宝単光章
【消防功労】

北上信用金庫理事長

木村 幸男 さん (66歳・飯豊)

昭和51年に北上信用金庫に入庫し、平成14年から大堤支店長、西和賀支店長、本店長を歴任。26年に常務理事となり、27年から総合支援部長を兼務しました。30年に理事長に就任。47年の長きにわたり、地域経済や地方金融業界の発展に寄与しました。受章は「当庫の取り組みが評価され、代表して受け取るもの。今後もしっかりと務めていきたい」と気を引き締めていました。



黄綬褒章
【業務精励(金融業)】